

# 科学に興味を持つきっかけづくりとしての新聞の活用

長野県長野南高等学校 佐藤 洋一

## 1. はじめに

以前から新聞記事を切り抜き、授業の教材としては使っていたが、新聞記事を授業に活用することでどのような効果が生まれるかきちっとした形で検証したことはなかった。今回のN I E実践指定校にご指定いただいたことを機に、通年で新聞記事の要約と感想や意見のまとめを取り組むことで、どのような効果が得られるかについて取り組んでみた。

## 2. 対象講座・単位数・講座人数

2年文系「生物Ⅰ」 4単位 29名

(その他の講座でも、年数回、新聞を活用した授業を展開した。)

## 3. 講座の年間目標と「科学に興味を持つきっかけとしての新聞活用」の授業目標

本校では講座開きの際、詳細なシラバスを提示し、年間目標、学習内容、評価方法、評価基準などについての説明をおこなっている。2年文系生物Ⅰは、例年、理美容を中心とした専門学校希望者や就職希望者が多く受講するため、次のような年間目標を提示している。

### 【講座の年間目標】

生物学の学習を通じて、『生物学の視点から社会問題を考える力』『自分の意見を相手に伝えるように表現する力』を身につけることを目標とする。そのために科学に関する新聞記事や書籍・ビデオに触れる機会を設ける。

本年度は、さらにN I E実践の対象講座として上記の年間目標を達成するために、新聞を主に活用することを生徒に説明し、次のような新聞活用の授業目標を提示した。

### 【「科学に興味を持つきっかけとしての新聞活用」の授業目標

科学（生物・医療・食・農業・環境など主に生物学に関わる分野）に関わる新聞記事を毎週読み、その記事の要約と感想・意見を書くことで、次の①～⑤の各項目の向上を目指す。

- ① 記事の内容を正しく読み取り、これを簡潔に要約する中で問題点を理解する。
- ② まず、感想を書く中で一定量書くことに慣れる。続いて、自分の意見をわかりやすく表現することに挑戦する。
- ③ 社会人になってからの情報源としての大切な「新聞を読む習慣」を身につける。
- ④ 教科書の知識と新聞にある記事（世の中の出来事）の関連に気付き、科学に興味を持つきっかけとする。
- ⑤ 新聞読むことを通じて、生物学の視点からも医療や食、環境といった社会問題を考えるきっかけとする。

#### 4. 実践内容

- (1) 科学に関わる新聞記事（一般的な新聞記事にこだわらず、高校生新聞や広報誌の記事も用いた）をB4サイズで印刷し、毎週月曜日の授業で配布した。
- (2) 配布時に要約のポイントと要約、感想または意見の条件（最低5行以上）さらに配点を説明し、授業内では課題に取り組まず、翌週の月曜日の放課後までの宿題とした。

【課題用紙（裏面に新聞記事を印刷。B4横サイズ）】

### 『生物Ⅰ』NIE 課題

- ① 「組番氏名」「新聞名」「朝・夕刊の別」「掲載日」「題名（見出し）」を記入。
- ② 用紙裏の新聞記事を読み、重要な部分を赤で囲む。
- ③ 「記事の要約（全文丸写しは不可）」と「感想または意見」を書く。

#### 【感想・意見の書き方】

- ・ 第三者に内容がわかるように書く。
- ・ 筆者の意見に迎合せず、自分の体験を踏まえて自分自身の感想または意見を述べる。
- ・ 最後に必ず読み返し、誤字や脱字がないかチェックする。

**\* 提出締め切りは、毎週月曜日17時。生物研究室前BOXへファイルごと提出。**

☆ 組 番 氏 名

☆ 新聞名 新聞 朝・夕刊（いずれかに○）

☆ 掲載日 年 月 日（ 曜日）

☆ 題名（見出し）

☆ 要約（全文丸写しは不可）

☆ 感想・意見（いずれかに○）

- (3) 提出の際は、「必ずファイルに綴った状態で提出するように」と指示をした。これは、自分の取り組んできた学習の積み重ねを視覚的にとらえることにより、達成感を持たせようと考えたからである。
- (4) 提出された課題は、原則、記事を赤で囲む…2点、要約…4点、感想または意見…4点の計10点満点で採点した。ただし、記事の内容によって配点のウエイトは変えた。また、よい感想やレイアウトがうまいものは「good!」と書いて特別に加点した。
- (5) 年度当初と年度末にアンケートを実施し、これを比較することにより、新聞活用の目標がどの程度達成されたか確認した。
- (6) 配達された新聞は生物研究室前の新聞架にかけ、主に三年生が閲覧できるように配慮した。さらに科学関係の記事を切り抜いた後の新聞も、山浦恒子教諭が担当されている3年生の「発達と保育」の授業で、新聞切り抜き課題の材料に利用していただいたので新聞の処分に困ることもなかった。

5. 使用した新聞記事・その他資料一覧

【購読紙】 9・10月 朝日新聞・産経新聞・信濃毎日新聞

11・12月 日本経済新聞・読売新聞

1・2月 中日新聞・毎日新聞

回	配布日	回収日	感想・意見	記事の見出し	新聞名(朝・夕刊の別)	掲載年月日	印象に残った記事	
							人数	%
1	4月12日	4月17日	感想	食べ物のことわざ ホント!! ウソ??「朝の果物は金」...	毎日新聞(夕刊)	2001年2月20日	1	4%
2	4月17日	4月24日	感想	続現代病のカルテ 花粉症②	信濃毎日新聞(朝刊)	2005年4月10日	1	4%
3	4月26日	5月1日	感想	教科書にはのっていないイマドキ科学 遺伝子組み換え作物って何だ?	高校生新聞(月刊)	2005年7月10日		
4	5月1日	5月8日	感想	自由課題				
5	5月8日	5月15日	感想	元気 味覚障害を調べてみました 偏った食生活に注意	朝日新聞(朝刊)	2004年3月22日	1	4%
6	5月15日	5月29日	意見	社説 行き過ぎに危険が潜む やせたい願い	信濃毎日新聞(朝刊)	2003年6月22日		
7	6月5日	6月12日	感想	健康生活してますか 快適な眠りが毎日の基本 ぐっすり眠って、すっきり目覚めよう!	高校生新聞(月刊)	2005年6月10日		
8	6月12日	6月19日	感想	食中毒 予防のコツは	朝日新聞(朝刊)	1997年6月24日		
9	6月26日	7月3日	感想	健康アドバイス「喫煙と健康について」	長野県教育公務員弘済会会報	1998年1月10日	2	7%
10	7月18日	8月21日	意見	社説 たばこ条約 ひと箱千円だっていい	朝日新聞(朝刊)	2005年2月28日	1	4%
				社説 禁煙週間 若い女性を守りたい		2006年6月4日		
11	8月28日	9月4日	感想	子供にも紫外線対策を	信濃毎日新聞(朝刊)	2006年5月14日	2	7%
12	9月4日	9月11日	感想	教科書にはのっていないイマドキ科学 地球温暖化って何だ?	高校生新聞(月刊)	2005年4月10日	4	14%
13	9月11日	9月19日	感想・意見	社説 死後生殖訴訟 ルール作りをしっかりと	信濃毎日新聞社(朝刊)	2006年9月6日	4	14%
				社説 凍結精子 法の谷間で子を泣かすな	朝日新聞(朝刊)	2006年9月6日		
	9月13日	補足資料		ニュースがわからん! 凍結精子で出産 父子じゃないの?	朝日新聞(朝刊)	2006年9月12日		
14	9月25日	10月2日	感想・意見	時時刻刻 BSE封じ神経戦	朝日新聞(朝刊)	2006年9月10日	1	4%
15	10月10日	10月17日	感想	知の先端 病原体のセンサー機能を特定 空振り乗り越えホームラン	産経新聞(朝刊)	2006年10月18日		
16	10月17日	10月23日	意見	腎臓が足りない 臓器売買事件 移植医療の背景	朝日新聞(朝刊)	2006年10月8日	4	14%
	10月17日	補足資料		ニュースがわからん! 腎臓移植って、どんな仕組み?	朝日新聞(朝刊)	2006年10月7日		
17	10月24日	10月30日	感想	ペット捨てられ続け 犬・猫年36万匹が殺処分、半減遠く	朝日新聞(朝刊)	2006年9月20日	5	18%
18	10月30日	11月6日	感想	利益を生むバイオ燃料 米国の「エタノールブーム」を見る	朝日新聞(朝刊)	2006年10月3日	1	4%
19	11月6日	11月13日	感想	be on Sunday 左に回りたがるヒト 右利き、二足歩行きっかけ?	朝日新聞(朝刊)	2006年10月29日		
20	11月27日	12月4日	感想	生活ががく 骨破壊抑えるグルタミン酸	信濃毎日新聞(朝刊)	2006年10月16日	1	4%
	11月28日	補足資料		「カルシウムってどんなもの」「効率よくとるには吸収率に注目」カルシウムを上手にとろう 2~5、8~9ページ	全国牛乳普及協会発行冊子	1999年3月		
	12月8日			「牛乳を正しく知ってもらうためのQ&A」ミルククラブ 61号 18ページ	中央酪農会議発行冊子	2006年10月1日		
21	12月4日	12月11日	教科書まとめ	イマドキ科学 紅葉のナゾに迫る	高校生新聞(月刊)	2006年11月10日		
22	12月11日	12月18日	感想・意見	科学12版(環境問題重いツケ/食道がん「休眠状態」に/蚊の遺伝子改変マラリア防/人工DNA/セ氏169度に耐える生分解プラ)	日本経済新聞	2006年11月27日		
23	12月18日	1月8日	感想・意見	これまで扱った記事の中から最も印象に残った記事を選び、感想または意見を書く				
24	1月29日	2月6日	感想・意見	冬眠 謎のメカニズム ホルモン発見で急速に解明進む	日本経済新聞	2006年11月19日	28	100%

## 6. 生徒アンケートのまとめとその分析

### (1) N I E 課題への取り組みに関するアンケートの集計

☆ 授業実施前(平成18年4月11日(火曜日)1時限目実施 講座人数29名 回答人数29名)

◎ 質問1は、各自の進路希望を具体的に尋ねているため、省略。

	質問項目	回答項目①	%	回答項目②	%	回答項目③	%	回答項目④	%	回答項目⑤	%	計
質問2	新聞をどの程度の量、読んでいますか。	まったく読まない。	13.8%	ほんの少し読む。	65.5%	興味がある部分を読む。	13.8%	一通り全部目を通した上で、興味がある部分を読む。	6.9%	すべての面をしっかりと読む。	0.0%	100.0%
質問3	平均すると新聞をどの程度の頻度で読んでいますか。	まったく読まない。または週に1回未満しか読まない。	17.2%	週に1～2回程度読む。	44.8%	週に3～5回程度読む。	13.8%	週に5～7回程度読む。	6.9%	毎日読む。	17.2%	100.0%
質問4	「ある文章の中から大切な部分を読み取る力」に自信がありますか。	まったく自信がない。	6.9%	自信がない。	62.1%	どちらともいえない。	20.7%	少し自信がある。	10.3%	自信がある。	0.0%	100.0%
質問5	「原稿用紙の使い方や文体、漢字に注意して、文章を書く力」に、自信がありますか。	まったく自信がない。	3.4%	自信がない。	48.3%	どちらともいえない。	37.9%	少し自信がある。	10.3%	自信がある。	0.0%	100.0%
質問6	「ある文章を読んで、自分の思ったことや感じたことを書く力(感想文を書く力)」に、自信がありますか。	まったく自信がない。	6.9%	自信がない。	55.2%	どちらともいえない。	27.6%	少し自信がある。	10.3%	自信がある。	0.0%	100.0%
質問7	「ある問題点について、他の意見を考慮しつつ、根拠を添えて自分の意見を書き表す力(小論文を書く力)」に、自信がありますか。	まったく自信がない。	41.4%	自信がない。	44.8%	どちらともいえない。	13.8%	少し自信がある。	0.0%	自信がある。	0.0%	100.0%
質問8	医療や食、環境といった科学系の社会問題に興味がありますか。	まったく興味がない。	13.8%	あまり興味がない。	10.3%	どちらともいえない。	37.9%	少し興味がある。	31.0%	興味がある。	6.9%	100.0%

☆ 授業実施後(平成19年2月14日(水曜日)3時限目実施 講座人数29名 回答人数29名)

	質問項目	回答項目	%	回答項目	%	回答項目	%	回答項目	%	回答項目	%	計
質問2	新聞をどの程度の量、読んでいますか。	まったく読まない。	13.8%	ほんの少し読む。	48.3%	興味がある部分を読む。	34.5%	一通り全部目を通した上で、興味がある部分を読む。	3.4%	すべての面をしっかりと読む。	0.0%	100.0%
質問3	平均すると新聞をどの程度の頻度で読んでいますか。	まったく読まない。または週に1回未満しか読まない。	24.1%	週に1～2回程度読む。	51.7%	週に3～5回程度読む。	13.8%	週に5～7回程度読む。	3.4%	毎日読む。	6.9%	100.0%
質問4	「ある文章の中から大切な部分を読み取る力」に自信がありますか。	まったく自信がない。	0.0%	自信がない。	3.4%	どちらともいえない。	20.7%	少し自信がある。	65.5%	自信がある。	10.3%	100.0%
質問5	「原稿用紙の使い方や文体、漢字に注意して、文章を書く力」に、自信がありますか。	まったく自信がない。	0.0%	自信がない。	13.8%	どちらともいえない。	27.6%	少し自信がある。	51.7%	自信がある。	6.9%	100.0%
質問6	「ある文章を読んで、自分の思ったことや感じたことを書く力(感想文を書く力)」に、自信がありますか。	まったく自信がない。	0.0%	自信がない。	3.4%	どちらともいえない。	17.2%	少し自信がある。	62.1%	自信がある。	17.2%	100.0%
質問7	「ある問題点について、他の意見を考慮しつつ、根拠を添えて自分の意見を書き表す力(小論文を書く力)」に、自信がありますか。	まったく自信がない。	3.4%	自信がない。	17.2%	どちらともいえない。	41.4%	少し自信がある。	34.5%	自信がある。	3.4%	100.0%
質問8	医療や食、環境といった科学系の社会問題に興味がありますか。	まったく興味がない。	0.0%	あまり興味がない。	3.4%	どちらともいえない。	13.8%	少し興味がある。	44.8%	興味がある。	37.9%	100.0%

## (2) NIE 課題を終えての生徒の感想

前ページのアンケート用紙の最後で NIE 課題に取り組んだ感想も書いてもらったが、多くの生徒が A4 サイズのアンケート用紙の裏一杯に書いてくれた。以下はその中の一部である。

- ◎ 新聞の記事を読む機会がなかったので、この課題を始めてから「新聞ってこんなことが書かれているんだ」と知ることができました。そして、課題をもらった月曜日から一週間、その記事の問題等を考えることができました。意見を書く課題では、自分はどう思い、周りはどう思うのか、相手はどう思っているのか、ということも考えられるようになりました。今まで自分の意見を通すだけで、相手はどう思っているのかということをほとんど無視していた私にとって大きな進歩だと思います。ニュースを見る機会も増えました。どんなことが問題になっているのか興味を持つこともでき、すごくよかったと思います。ただ、新聞を自主的に読むことがまだほとんどないので、意識して読んでみたいと思います。

個人的には感想型の課題よりも意見型の課題の方が好きでした。自分でたくさん考えて、問題にちゃんと向き合っている気がしたからです。そして思ったことを文章にできる力もつきました。世間の人たちに若い人だって考えているんだよってことを伝えたいなと思いました。

- ◎ 普段あまり社会的問題に対して自分の意見や感想を言葉にして残すことがなかったので、今の自分と前の自分を比較したり、どのようなことを考えていたかわかるので、とても自分のためになったと思います。

最初は毎週のレポートが面倒で嫌々やっていたけれど、他の人の感想や意見を聞いていると自分一人ではわからないようなことや新しい展開を見せる人もいて、本当に考え方は多種多様なんだと思いました。おかげで私にも別の道が大きく開け、選択肢の幅が広がったように感じます。

- ◎ この新聞課題は、社会の様々な問題に目を向ける本当にいい“きっかけ”になったと思う。以前より新聞やニュースに目を向けるようになり、それに伴って自分の意見を持つようになった。今までは、記事に書かれていることやニュースキャスターが言っていることをうのみにして「ああ、そうなのか」という反応しか持たなかった私だが、今では“自分ならこう考える”といった自分なりの考えを持つようになった。これも、一年間、この新聞課題をこなして得た成果だと思う。この課題をおこなっていなければ、新聞の堅苦しい文章にわざわざ目を向けたいなんて思わなかっただろう。

最初は、毎週のようにこのプリントに文字を書くのが苦痛に感じることもあった。しかしそれも回を重ねるごとに、要約するポイントがつかめてきたり、自分の思うようにレイアウトできるようになってきたり、意見を交えた感想を書けるようになってきたり、段々と文字も細くなり、はじめは広いと感じたスペースが逆に足りないと感じる状態となってきた。この新聞課題をつづったファイルの厚みは、そのまま自分の自信へとつながる結果となった。「先生が言っていたことは本当だったんだな」とこの一年間を通して実感した。今ではもう、この課題を苦痛と思うことはない。むしろ、当たり前になってきたこの習慣が終わってしまうのかとさみしさを覚えるくらいです。

- ◎ 自分の身の回りに起こっていること、タバコの問題、環境問題などを取り上げていただき、自分にとってもいい力になったと思います。世の中を知ることができてかつ文章力もついて、一つの問題に対しても多くの疑問をもつようになり、それを追求することに興味を持つことができました。今の一年生にも続けて欲しいと思います。世間を知ることにも文章力をつけることも、これから先、無駄にはならないと思います。
- ◎ 新聞を読み取り自分の意見や感想を書くなんで、今まで全くやったことなかったし、文章力も全くなかったし、本当に自信がなくて、最初は感想5行を書くのもきつかったけど、だんだん慣れてくると新聞記事に対して自分が言いたいことや、否定したくなること、納得することができて、それを文章にすることも何とかできるようになったので、そこは進歩したんだなと思いました。この授業を通して文章を書くことに対する恐怖心は少なくなりました。
- ◎ このN I E新聞課題がなかったら、4月の自分（何も知らなかった状態）のままだったと思います。たしかに今でも新聞は読んでいないけど、この課題に出た新聞の内容と同じこと、似たようなことをテレビのニュースでやっていると見るようになりました。新聞は見なくてもテレビのニュースを見るようになったことが、自分の中の大きな変化だと思います。正直、はじめは面倒くさいと思っていました（点数も低かったので…）。でも、だんだんいろいろなことを知ることが楽しくなりどんどん点数も上がって、最後の課題の時には、ちょっとさみしい気がしました。先生のストレートな評価は自分のためになりました。一年間だけでもこういう経験ができてよかったです。
- ◎ 家では全く読まない新聞記事を読み、興味を持つことができてよかった。今までテレビのニュースで興味のある話題は見ていたけど、やはりテレビのニュースと新聞の内容はほとんど連携していて新聞の方が細かに書いてあるし、自分のペースで読めてとてもいいということに気がついた。今まで通り新聞を読まない生活をしていたら、絶対知らなかった環境問題や食の問題を新聞課題を通して知ることが出来てよかった。毎週毎週、面倒くさかったけど、最終的には自分に力がついたと思う。
- ◎ 最初はこの課題が毎週出ることが本当に面倒で、難しいし、他人の者をいつも写させてもらって終わりにしていました。だから、最初の評価は3とかすごく悪かったです。でも、あるとき時間があって「ちゃんとやってみようかな」と思ってやってみたら意外におもしろくて7とか8とかの評価がもらえるようになりました。その後、もっと真剣にやってみたら9.5 + 0.5の10点満点がもらえるようになりました。そんなわけで「やればできるじゃん」と思いました。
- 新聞なんかめったに読まないし、「生物もわけわかんない」と思っていたけど、N I Eを通していろんな記事が読めたし、まとめることでそれを理解できるようになりました。「進路にも多少影響したかな」と思います。IV類系は進学向きじゃないけど、「最終的には努力だ」と思って頑張りたいです。

### (3) 授業評価アンケート

一年間の最後の授業で、NIE課題のアンケートとは別に、例年実施している授業評価（私の授業の進め方への評価）と自己評価（自分の授業への取り組みの評価）も実施した。以下はそのアンケートのまとめの一部である。授業評価の中では後輩たちへのメッセージも書いてもらった。これも一部載せておく。

☆ 授業評価まとめ(平成19年3月1日(木曜日)1時限目実施 講座人数29名 回収数27名)

	良	やや良	中立	やや悪	悪	コメント(人数)
新聞課題	55.6%	40.7%	3.7%	0.0%	0.0%	一年間を終えて文をまとめる力がついた。文章を書く力がついた(9) 医療や環境など社会問題を知ることができた。今何が起きているかわかった(5) 新聞を読むようになった。全部とはいえないが興味を持った。新聞はもちろんテレビのニュースにも前より目がいくようになった。ニュースを見る時間が増えた。真剣に新聞を読めるようになった(6) 周囲の意見を聞くことができてよかった。意見を書くことに自信がついた(2) 問題に対し意見を持ったり他人に分かりやすく伝えようという気持ちになれた 生物の課題なのに国語的要素満載だった。役に立たないわけがない。 自分のがんばりと点数が比例するところが面白かった
目標設定	45.8%	45.8%	8.3%	0.0%	0.0%	新聞課題で『自分の意見を他人に伝えるように表現する力』が身についた(3) 社会問題を考える力が自分の中ですごくレベルアップした(3) 内容は目標どおりだった。目標に書かれている力がついたと実感している(2) 新聞課題で目標が達成されている。新聞切抜きが一番だった(2) 一年間の授業を終えて、四月より「できるようになったこと」が増えた 科学に関する新聞記事を読みまとめることで考える力がついた NIEの課題で文章を書く力に少し自身が持てるようになりました 実験があったおかげで生物学に興味を持てた
講座充実度	45.8%	50.0%	4.2%	0.0%	0.0%	達成感があつた。ほとんどの授業や実験が楽しかった。とてもためになった(4) 内容がきちっとしてよかった。しっかりしていた(2) 課題に一番がんばった教科だった。実験にも授業にもとてもよく取り組めた(2) 新聞切抜きを通じ社会問題や生物に関心を持つことができた 今になって振り返ると一年間がんばったなと思うことができました 授業がわかりやすかった

### ☆ 後輩へのメッセージ

- ◎ 「面倒だからやらない」ではなく、「面倒けどやる」という気持ちが半年後、一年後に形になってくる。ちゃんとやることは自信につながっていくし、自慢になると思う。そのときは嫌でも絶対、後で達成感につながる。
- ◎ 最初は面倒とすごく思うかもしれないけれど、がんばれば形になります。形になったものは手にとって眺められるし、「自分ってすごいじゃん」ってそれを見れば思うことができます。また、他の人に見せることもできます。その繰り返しの中でよい評価がもらえて「じゃあもつとがんばろうかな」と思えます。それら全部が自分の自信となります。
- ◎ 最初は課題がとても面倒だと思うけれど、1～2ヶ月すれば慣れます。それに社会問題についてニュースで言っていることがわかるようになるので、サボらず取り組んでください。

## 7. 実践者の感想・反省点

### (1) 実践者の感想

以前から新聞記事を切り抜き、授業のネタとしては使っていたので、ある程度の成果は予想していた。しかし実際に通年でNIEの実践してみると、予想を上回る熱心さで生徒たちが課題に取り組んでくれた。また、NIE実践の効果かどうかはわからないが、授業自体も例年以上に静かにかつ熱心に取り組む様子がみられた。

結果として、『生物学の視点から社会問題を考える力』『自分の意見を相手に伝えるように表現する力』を身につける」という目標は十分に達成し、「少々高いハードルを超えたときの達成感を味わってほしい。そしてその達成感を通じて何らかの自信を持ってくれば…」という願いもほぼ達成できた。最後の感想を読むと生徒たちの成長がよくわかる。このNIEの実践では、「自分が何かを教えた」というよりは、「生徒たちから別な見方を教えられた」「課題のキャッチボールの中で生徒たちが自発的に成長していった」という感覚を強く持った。

この一年間は、自分の教員生活の中で公私共に最も多忙な年であり、このNIE課題や実験レポートのチェックのために毎週末の出勤を余儀なくされたが、生徒たちのアンケート結果に救われた思いがした。

### (2) 反省点

- ① 対象講座が増えたとき、本年度と同質の授業が展開できるか少々不安が残った。評価方法の簡略化や課題作成を複数の教員持ち回りでおこなうなどの工夫が必要だろう。
- ② 実践後半でふと思ひ立ち、上手にまとめたものや特徴的な意見を印刷して全員に配布した。その直後、全体のレベルが著しく上がったので、もっと早く生徒相互間の考えを交流する場面を設ければよかったと思われる。
- ③ 生徒たちに自由に新聞記事を選ばせる『自由課題』は第4回に一度実施したきりで、後は実施しなかった。これは数名、新聞を取っていない生徒がいたためであるが、第22回で実施したような複数の良質な科学記事がまとまって掲載されているタイプの紙面を用いれば、新聞を取っていない生徒がいても『自由課題』に近い実践ができることがわかった。もっと早くそのようなタイプの課題を出していれば、と感じた。
- ④ 『生物学の視点から社会問題を考える力』『自分の意見を相手に伝えるように表現する力』を身につける」という部分の目標は達せられたが、生物の定期考査の得点が飛躍的に伸びることはなかった。新聞の取り組みと教科そのものの理解力の向上のバランスよい発達については、今後の課題と考える。



## 8. 来年度の目標

### (1) 講座の目標

来年度は、2年文系「生物Ⅰ」2講座を対象に次の目標設定のもと、実践を重ねたい。

#### 【「科学に興味を持つきっかけとしての新聞活用」の授業目標】

科学（生物・医療・食・農業・環境など主に生物学に関わる分野）に関わる新聞記事を毎週読み、その記事の要約と感想・意見を書くことで、次の①～⑤の各項目の向上を目指す。

- ① 記事の内容を正しく読み取り、これを簡潔に要約する中で問題点を理解する。
- ② まず、感想を書く中で一定量書くことに慣れる。続いて、自分の意見をわかりやすく表現することに挑戦する。
- ③ 他の生徒が書いたさまざまな意見や感想に触れる中で、誰にでも納得できる形で自分の考え方をまとめる能力を身に着ける。
- ④ 社会人になってからの情報源としての大切な「新聞を読む習慣」を身につける。
- ⑤ 新聞を読むことを通じ、教科書の知識と自分、新聞にある記事（世の中の出来事）と自分との関連に気付き、科学に興味を持つきっかけ、医療や食、環境といった社会問題を考えるきっかけとする。

### (2) 学年の目標

本校は来年度より、校是『意欲・創造・誠実』に基づき、より時代に即した新しい取り組みと、これまでの実践をさらに発展させる取り組みを両輪とした学校改革『長野南ルネサンス』を推進し、「入れる大学・なれる自分」から「入りたい大学・なりたい自分」への転換をはかりたいと考えている。よって、NIE実践についても本年度の取り組みの成果を生かし、これまで以上に意識的、継続的に、新聞を利用した課題を「総合的な学習の時間」の中に取り入れていきたいと考えている。

#### 【『総合的な学習の時間』における新聞活用』の学年目標】

キャリアガイダンス教育の一助として、社会的な問題や様々な人々の人生の軌跡・仕事や進路に関する新聞記事を音読し、その記事の要約と感想・意見を書くことで、社会人基礎力の育成を目指す。また、取り組みをそれぞれがファイルに綴っていくことで達成感と自信を創生する。

具体的には、次の①～⑤の各項目の社会人基礎力の向上を目指す。

- ① 記事の内容を正しく読み取り、これを簡潔に要約する中で問題点を理解する。
- ② まず、感想を書く中で一定量書くことに慣れる。続いて、自分の意見をわかりやすく表現することに挑戦する。
- ③ 他の生徒が書いたさまざまな意見や感想に触れる中で、誰にでも納得できる形で自分の考え方をまとめる能力を身に着ける。
- ④ 社会人になってからの情報源としての大切な「新聞を読む習慣」を身につける。
- ⑤ 新聞を読むことを通じ自分と社会（世の中の出来事）の関連に気付き、様々な社会問題に興味を持つきっかけ、社会問題を考えるきっかけとする。